

米沢市立病院 地域医療連携室だより

第36号

2021年
7月9日発行

～リニューアルして、米沢市立病院の情報をお届けします～



＜連携だより＞

第一回米沢市立病院研修会
記念講演会をWEBで行いました

＜新任医師のご紹介＞

耳鼻咽喉科 窪田 俊憲

＜慢性穿孔性中耳炎をご存じですか？＞

米沢市立病院で
内視鏡耳科手術ができるようになりました

お問合せ先：〒992-8502 米沢市相生町6番36号

米沢市立病院 地域医療連携室

TEL：0238-22-2450（代表）0238-22-2613（直通） FAX：0238-22-2624

（8:30～17:15 年末年始、土日祝日は除く）



5月13日、当院の地域医療支援病院の研修会・記念講演として、全国自治体病院協議会の名誉会長、そして全国公私病院連盟の会長の邊見 公雄先生をお迎えして、当院からテレビ会議システムを利用して講演会を実施しました。

国が推進する地域医療構想と地域包括ケアシステムなどの医療政策や、「三友堂病院と当院の地域医療連携推進法人」の統合に関して、地域医療の視点でわかりやすく解説をいただき、また貴重なご意見をいただきました。患者さんに寄り添う邊見先生から数々の温かいお言葉をいただき、講演のタイトルのとおり、医療関係者が生命を輝かせる元気を頂戴いたしました。

なお、講演動画はYouTubeにアップロードする予定です。

第一回米沢市立病院研修会記念



本講演では、地域の医療関係者

46名の方々にご参加いただきました。

米沢市立病院研修会記念講演会（令和3年度）

いのち
「生命輝かそう！ 置賜の市民」

～ コロナを乗り越えて～
（地域包括医療・ケアの時代に）

コロナ2年（2021年・令和3年）5月13日

特定非営利活動法人 地域医療・介護研究会 J A P A N
会長 邊見公雄



講演会をWEBで開催しました

今回の講師

邊見 公雄先生からのメッセージ

この度は、記念講演にお招きいただきありがとうございます。
地域医療を支える方々のお力になりたいという気持ちで、講演
を引き受けさせていただきました。

これからの医療は「病院で治す医療」
から「地域で治す医療」を多職種協働
で実践することが重要です。

また地域包括ケアシステムを前提と
した医療と介護の連携」も重要な課題です。

講演を通じて、これらのテーマをお伝えできたらと思います。



耳鼻咽喉科 窪田 俊憲先生が 赴任されました



Q1. 主な担当疾患を教えてください

A. 先天性難聴や老人性難聴、突発性難聴など聞こえに関する疾患や、慢性穿孔性中耳炎や真珠腫性中耳炎など耳の炎症に関する疾患を専門としていますが、耳鼻咽喉科一般診療も行っています。

Q2. 耳鼻咽喉科医を目指したきっかけについて

A. 老若男女、初診から手術を含めた治療完了まで一貫して患者さんに関われることと、山形大学医局の雰囲気良かったためです。

Q3. 趣味は？

A. 大きな声では言えませんが、学会参加の空き時間に各地の観光地を巡ることですね。

Q4. 米沢への想いを教えてください

A. 高校まで米沢で育ちましたので、本当の故郷です。

Q5. 最後に、市民の皆様へ一言!!

A. 米沢市立病院も含め、米沢市の耳鼻咽喉科診療がさらに充実したものになるように努力したいと思います。

慢性穿孔性 中耳炎 をご存じですか？

慢性穿孔性中耳炎とは

急性中耳炎や外傷などによって生じた鼓膜の穴（穿孔）が閉鎖せず、残ってしまっている状態の中耳炎です。

鼓膜に穴があいていると音が十分に伝わらずに難聴を引き起こします。また鼓膜は中耳に水や埃、細菌が侵入するのを防いでいます。

このため鼓膜に穴があいていると、中耳に感染を起こし、耳だれ（耳漏）が出やすくなります。

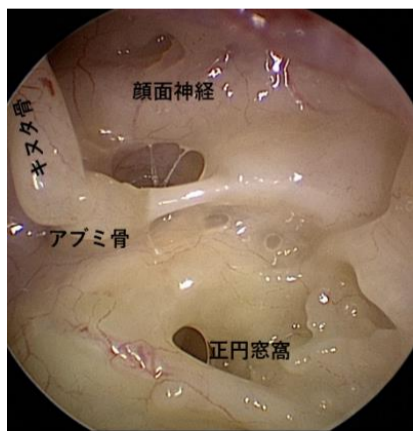


左慢性穿孔性中耳炎

当院では経外内視鏡耳科手術を行っています

経外耳道的内視鏡耳科手術 (TEES)とは

従来、耳の手術は耳の後ろを切開し顕微鏡を用いた手術が行われていましたが、2011年頃より「経外耳道的内視鏡耳科手術(TEES)」が新しい手術手技として開発されました。



TEESの術野

TEESは、「身体をあまり傷つけない」「痛みが少ない」などのメリットがあるうえ、疾患によっては顕微鏡では見えない病変を内視鏡で確認しながら処置ができる手術手技です。

慢性穿孔性中耳炎などによる難聴の改善や、真珠腫性中耳炎などの炎症の治療が手術の適応になります。全国的にTEESを導入している施設は大学病院など一部の施設に限られているのが現状ですが、この度、米沢市立病院でTEESを行えるようになりました。



術後1日目の写真

新病院建設事業関連の近況をご報告します。

外来低層部解体跡地



旧看護師寮
解体跡地



↑マイクロバス停留所



↓北外来棟



付替道路（北側）

↑北外来棟正面玄関付近↓



↑玄関前スロープ

堤防道路拡幅工事



松川・堤防側→

←病院建物側

南側駐車場(患者専用)

↓工事仮囲い↓



↑マイクロバス停留所

南側駐車場出入口



起工式



建設用敷地を整備するため、敷地中央の市道を廃止し、旧看護師寮と外来低層部を解体しました。外来低層部の機能は北外来棟（旧北病棟）に移転し、市道の廃止に伴う付替道路は北外来棟北側に整備しました。大型車両の通行のため付替道路以南の堤防道路の拡幅工事を行っています。南側駐車場の約半分が工事エリアになるため患者さん専用とし、廃道に伴い出入口は南側県道のみとなります。6月28日（月）に起工式を開催しました。